

セナで広がる。 セナで繋がる。

SENA

Motorcycle life with Intercom

インターコムが初めてという人に
ぜひ使ってほしい5シリーズと3S
キーワードは「見えるインターコム」と
「見えないインターコム」だ!

写真/廣瀬友春 文/八百山ゆーすけ
問: インターソリューションマーケティング
TEL03-5795-2685
http://senablueooth.jp/
取材協力/ヤマハ発動機 ☎0120-090819
http://www.yamaha-motor.co.jp/

大きなダイヤルで
直感的に操作できる

ハイエンドからベーシックなモデルまで、幅広いラインアップを揃えるセナのインターコム。このラインアップは、「見えるインターコム」と「見えないインターコム」の両方を揃えているのが、セナ・インターコムの大きな特徴だ。

この「見える」と「見えない」の違いは、ヘルメットの外にインターコム本体が付いているかという違い。「見えるインターコム」は、帽体の縁にインターコム本体を取り付けて、そこにあるボタンやダイヤルを操作する、一般的な

日常会話を ツーリング中も楽しむ



スタイルのもの。見えないインターコムは、本体にあたる部分も含めてヘルメットの中に仕込んでしまうもので、ヘルメットの外からはパツと見てインターコムが付いていることが分からない。

セナでは「インターコムを初めて使う」というライダーのために、5シリーズと3シリーズを用意している。このうち、「SMH5/5FM」は「見えるインターコム」のベーシックモデルだ。

旅にマッチした機能性

SMH5/5FM マッチ箱サイズのコロンとした本体に機能が満載。インターコム会話はタンデムやペアで会話できるのはもちろん、自分も含めて最大4人のグループで会話もできる。また、スマートフォンと接続すれば、電話ができるのももちろんのこと、アプリを使って音楽を聞いたりナビの音声案内を聞くことだって可能だ。

さらにSMH5・FMであれば、FMラジオ放送を聞くこともできる。昨年から一部のAMラジオ放送がFM放送波の中で聞けるFM補完放送にも対応。ラジオは定期的に流れる交通情報番組を聞けば渋滞や規制の様子が分かるなど、走りながら得られるツーリングの情報源としても役に立つ。そして、これからインターコム



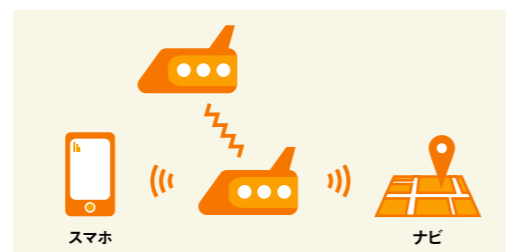
SMH5

価格: 1万7712円 (ソロ) 3万3264円 (ペア)
同時通話: 2人 切替え (選択) 会話4人
通信距離: 最大400m (見通しの良い所)



SMH5-FM

価格: 2万304円
同時通話: 2人 切替え (選択) 会話4人
通信距離: 最大700m (見通しの良い所)
問: インターソリューションマーケティング
TEL03-5795-2685 http://senablueooth.jp/



スマホとナビを同時利用できる「マルチペアリング」

セナのインターコムはスマホともう一台のスマホ、もしくはHFPというプロファイルを利用するGPSナビを同時にペアリングして、切り替えて使うことができる

を使い始めるときに悩ましいのが、仲間が今持っているインターコムと接続できるかどうか。SMH5/5FMは、他社のインターコムと接続できるユニバーサルインターコム機能で会話ができる。「見えるインターコム」のメリットは、なんといつでも直感的な操作性のよさ。SMH5/5FMは、その小さなボディの半分を占めるかのような大きなジョグダイヤルが付いている。セナ・インターコムのアイコンともいえるこのダイヤル。ライディング中のグローブをした手で操作するのに、とても使いやすくと定評だ。インターコムが初めての人でも、すぐに使いこなせるようになるだろう。

ヘルメットをはずさず装着可能

ヘルメットへの取付けは、帽体のフチを挟み込むクランプユニット (左) と、帽体に貼り付けるベースマウント (右) の2つのマウントを同梱する



高音質のスピーカー

薄くて小型のワイドレンジスピーカー。ヘルメットのイヤークラスに収めやすく、耳への干渉も少ない。面ファスナーで貼るだけと取付けも簡単



セナ・インターコムを特徴づけるジョグダイヤルと後面のフォンボタン。大きなダイヤルや突起のはっきりしたボタンは、グローブをした手でも、確実な操作ができる

街中をスマートに走る 見えないインターコム



ほぼ操作の必要がない
一人で使うのに最適

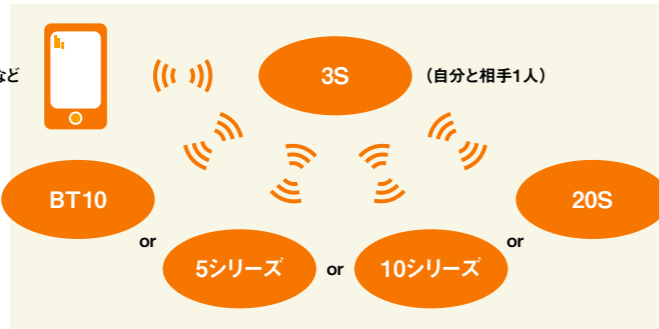
インターコム入門に最適なベリックモデルの「見えないインターコム」が「3S」。いわゆる「本体」に当たる部分は見当たらず、ヘルメットの両耳の位置に付けるスピーカーとマイクしかないようなスタイルが独特だ。物理的にはスピーカーとマイクしかないため、ヘルメットの帽体の外に付ける部分はまったく見えない。そのため、周囲から見ると、ヘルメットに付けていることが分からない「見えないインターコム」なのだ。

「見えるインターコム」の場合、操作は本体のダイヤルやボタンで行うが、「見えないインターコム」には本体に当たるものがないため、それができない。そこで、3Sでは、ブームマイクタイプはマイクの根元に、ケーブルマイクタイプはごく薄いボタンを帽体に貼り付けて操作するようになっていた。操作後のインターコムの状態は音声ガイドが教えてくれるから、「見えない」からといって操作が難しいわけではない。

セナのインターコムであればどれとでも接続が可能。また、スマートフォンと接続すれば、電話や音楽を聞く、ナビアプリの音声案内を聞く、といったことももちろんできる。また、セカンドフォンペアリング機能があるため、スマートフォンを2台接続したり、スマートフォンの台とHFPに対応したGPSナビを接続するといった使い方も可能にしている。

これまでインターコムを使っていなかったライダーの中には、「デザインが気に入っているヘルメットにインターコムのようなものが付くのがイヤ」という声も少なくない。しかしこの「見えないインターコム」であれば、帽体に何も付ける必要がないため、デザインを損なうこともない。

特にバイクに乗る中心が通勤通学やソロツーリングが多いというライダーの場合、音楽やナビの音声案内を聞いたり、着信した電話に出るといった用途となる。その場合、ほぼインターコムを操作する必要がない。であれば、ヘルメットの表面にすっきり何も付けない、「見えないインターコム」を、ぜひオススメしたい。



他モデルとのペアリングもO.K

3Sとインターコム会話できる1対1の相手は同じ3Sに限らない。SMH5/FMをはじめ10、20シリーズなどで会話が可能。他社のインターコムとの会話はできない

ココで操作!



[3S-W(ケーブルマイクモデル)]



[3S-B(ブームマイクモデル)]



3S-W
[ケーブルマイクモデル]

3S-B
[ブームマイクモデル]

充電もカンタン
充電は本体から伸びるマイクロUSBケーブルは、3Sの充電のほか、ファームウェアのアップデートにも使用。充電は市販のUSB充電器が利用できる



操作ボタンはわずか2つ（プラスボタン、マイナスボタン）だ。ブーム型マイクモデルはマイクの付け根に、ケーブル型マイクモデルは、帽体に貼り付けたパッドにボタンがあり長押しで設定できる

3S-W ケーブルマイクモデル 3S-B ブームマイクモデル

価格：1万4472円（ケーブル型マイク）
1万3392円（ブーム型マイク）
同時通話：2人
通信距離：最大200m（見通しの良い所）